

<シェリル・メイナー大佐の2020年10月25日のビデオメッセージ>

8週間の祈りの4週目のテーマは「聖霊の力」です。イエス様は十字架にかかれる直前、聖霊について語られました。それは、父なる神が聖霊を送って、力を与えてくださるという約束です。一番大切なことは、わたしたちがイエスを信じる時、聖霊がわたしたちの心に来てくださる、ということです。パウロはローマの信徒への手紙の中で、聖霊は、わたしたちを自由にし、助けを与え、平安を満たし、霊的に死んでいたわたしたちをよみがえらせ、勝利を与え、導き、神のことを教え、将来を与えてくださる、と述べています。8:26-27では「人の心を見抜く方は、”霊”の思いが何であるかを知っておられます。”霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです」と言われています。17世紀にジョン・バニヤンという人物がいました。彼は、若い時に両親を亡くし、兵役後に結婚し、4人の子どもを与えられましたが、その一人は目が見えませんでした。バニヤンは、イエスを信じて救われた時、心の喜びを抑えることが出来ず、街頭に出て救いの証しを語り、福音を説教しました。それを聞くために数千人が集まりました。しかし当時は資格の無い人が勝手に説教することは禁止されていたので、投獄されました。二度と説教しないと誓約すれば釈放されましたが、彼はどうしたらいいかわからず、迷いました。迷っている間に妻は不安のために流産してしまいました。しかし彼は、救いの証しを止めることはできないと考え、獄中で12年間過ごしました。その獄中で彼は『天路歷程』を書いたのです。ときどき人生の困難のなかで、どう祈ったらよいかわからない時があります。しかし、聖霊がわたしたちのために祈ってくださるとは、なんと大きな慰めでしょう。祈れない時も、神はわたしたちの思いを理解してくださいます。途方にくれるときも、聖霊はわたしたちの気持ちを知って、代わりに祈ってくださるのです。聖霊は、いつでもあなたの味方です。そして、聖霊が祈るとりなしの祈りを、父なる神は聞いてくださいます。今わたしたちは、かつてないほどの困難を覚える時代を迎えています。クリスチャンですら、どのように福音を証しして行ったらよいか迷っています。しかし、聖霊の助けと導きをいただいて、わたしたちは進んで行くことができます。神は聖霊をとおしてわたしたちの祈りに応えてくださいます。今週あなたが聖霊の力をおぼえて祈ることができますように。